

新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞ宜しくお願いいたします。

昨年一昨年に引き続き、コロナについて、色々と考えさせられる一年…。コロナ禍となり、皆さんも生活の中での制限が多く、選択肢も減り、気が滅入りませんでしたか？

「人に会うことができない」、
「やりたいことが思うようにやれない」、
「パターン化された生活に嫌気がさした」、
なんていう方も、多いのではないのでしょうか？

コロナ禍での生きにくさを皆が身をもって体験した二年間であり、さらに三年目突入となります。

生きにくさというキーワードで言うと、障がいのある方は、コロナ禍以前から日々、生きにくさを感じている方が多くいらっしゃるのではないかと思います。障がいのある方々の生きにくさは、やりたいことがやれないのももちろんですが、
「やりたいことが何なのかが伝わりにくい」
「日頃からの選択肢が少ない」
「障がい故に自分でやりたいことをどう見つけたらよいかかわからない」
など、生きにくさの質は様々です。

生きにくさの中の一つである「選択肢の少なさ」についてヒントになればと、2021 年度の生活創造空間にし研修では、障がいのある方の住まいについて考えてきました。(最終回は 2 月 4 日！詳しくは下記 QR コードから)



何を隠そう、私は今年、**年男**！まずは新年最初に何かやりたいことないかなと、年末から考えていました。そして思いついたのが、書き初めでした。何十年ぶりに子どもから借りた筆を持ち、自分の干支である『寅』という字に今年への意気込みを込め、書きました。



まずは、どんな選択肢があるかを
知ることが重要であると、
グループホーム・支援付き一人暮らし・入所施設で
実際に生活されている当事者の暮らしぶりを
動画で発信し、暮らしている人の声を聞きました。
生きることは、選択の連続です。
自分で選択して、思い通りにいくこと、失敗すること、
様々な経験・試行錯誤を経て、
知り、学んでいきます。
我々は、そこにどう寄り添えるか？
想像・創造できるか？
ここが、我々の仕事の肝ではないでしょうか？

我々が「グループホームがいい」とか、
「入所施設はダメ」とか、決めるものではありません。

現在は、コロナを理由にして、生きにくさについて、
「みんなそうだから仕方ないよね！」
なんて言われていられるのかもしれませんが、
コロナ禍であるからこそ、誰もが彩ある人生を送る為に、
もっと真剣に考えないといけないのではないのでしょうか？

「そうしなければ、コロナは超えられない！」と、
自分に言い聞かせ、新年の挨拶と代えさせていただきます。

館長 阿部 浩之



～アンラシネを目指します～

第 51 号 2022 年 1 月 20 日 発行

第 51 号は生活創造空間にし館長の阿部より、年頭のご挨拶をさせていただきます。その他、『にし研修報告』、『みんなの節供報告』、『当所よりお知らせ』、お馴染み『もへじ』のつづき、と、いつもよりコンパクトになっております。どうぞご覧になって下さいませ。

2021年度にし研修 経過報告

2021年度の生活創造空間にし研修は、コロナウイルス感染拡大防止に配慮しながら、会場とオンライン(Cisco Webex)のハイブリッド方式で実施しました。

オンラインの取り組みは初めてということもあり、試行錯誤しながらの開催となりましたが、今年度の研修は区内、県内に留まらず県外の遠方の方もご参加いただく事が出来ました。

今後も感染症対策を講じたうえでのご参加いただいた皆様、誠にありがとうございました。

2021年度は「障害のある方の住まいを考える」をテーマに、

第一回 映画『えんとこの歌』

第二回 「グループホーム入居者・介護付き一人暮らし」

第三回 「1Rでサービス付き一人暮らし・特例子会社就労者」

第四回 「身体障害系入所施設入居者・知的障害系支援者」



※生活創造空間にし研修
2/4 第5回チラシはこちらの
QRコードから読み取れます。

以上の計4回開催致しました。

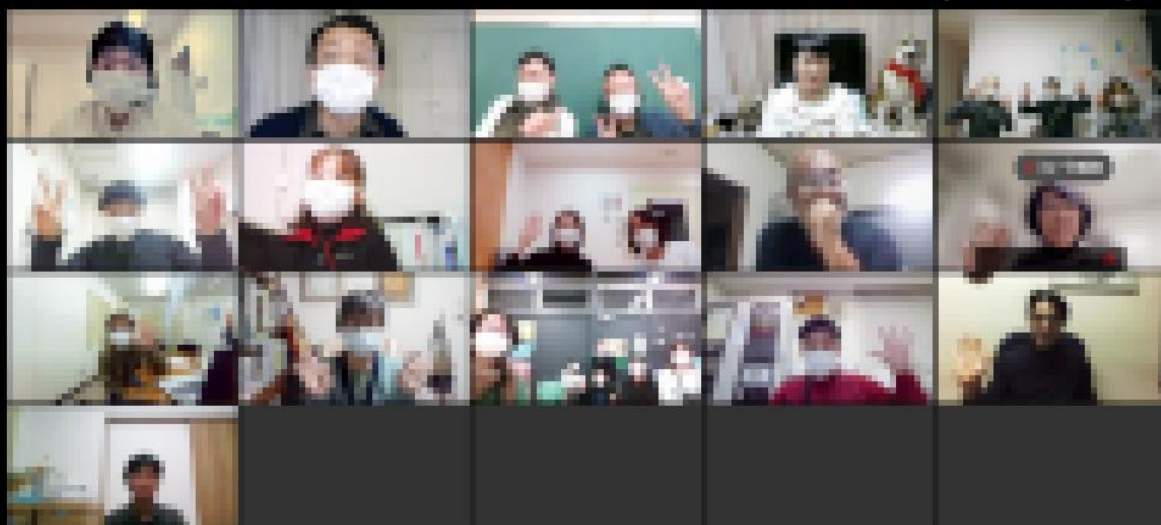
今回の研修では当事者7名(うち1名『えんとこの歌』主演の方、1名支援員)にご登壇いただき、暮らしの実態についてお話しをしていただきました。

私自身の話になりますが、今回の研修では進行役として、お二人の当事者の方にインタビュー形式でお話を聞かせていただきました。当事者から発信をしていただいた住まいの実態を知る事で、「住まい」の選択肢を増やす・知る機会となりました。例えば『入所施設』という名称だけは知っているものの、実際には中身や実態を知らなかった為、お一人の方の暮らしの一例を知る事で私自身の生活の中での選択肢が増えたように感じています。

皆様にとっても、そういった『暮らし』の選択肢を「知る」、「増える」、「考える」機会となっていれば、大変に嬉しいです。

2月4日(金)に開催を予定している生活創造空間にし研修第5回目では、又村あおい氏にご講演いただく予定となっております。今年度の最終回となっております。皆様のご参加お待ちしております。

R3.12.3 第四回「身体障害系入所施設入居者・知的障害系支援者」開催時の様子(モザイク処理あり)



ミュート ビデオの停止 共有 参加者 チャット

2022年1月14日(金)16:30~17:30 『生活創造空間にし』で

『みんなの節供』を無事に開催することができました。

エントランスホールの縦に細長い形状のスペースで、もう少しゆったりと過ごして頂きたいという想いから定員を20名に絞りましたが、今回なんと！二倍超の43名様にご応募頂きました。これは凄い反響！

『みんなの節供』がそれだけ皆さんに感心を寄せて頂いているという状況で、少しでも多くの方にご参加頂きたく、急遽定員を30名に増やしましたが、それでも抽選から漏れてしまった方はごめんなさい🙇また次回も申込みお待ちしております。

そして厳正なる抽選の結果、参加者28名（おとな18名、こども10名）にご参加頂きました。

今回も音楽ボランティアグループ”おもちゃのはこ”のコンサートは拡大版で開催。

そしてお持ち帰り頂いたお土産は、藤棚商店街の一つ『藤棚商店会』の人気店舗や福祉施設とのコラボレーション企画で初登場しました。

『みらい工房西さん』からは2022年の干支であるトラをステンシルした『ハンドメイドタオル』、『沢田水産 魚鷹さん』からは『あじつきいりこ』、『HILL COFFEE BAKERYさん』からは『食パン一斤』、『伊藤園茶舗さん』からは『緑茶のティーバック』。どれももらってうれしい商品盛りだくさんな『しあわせのつめあわせ』になりました。

ご参加者の皆様の中では、日頃、5階にある”おもちゃ文庫”をご利用して下さいっている小さなお子様たちも多くご参加頂きました。お子様たちの笑顔や元気な姿にこちらでもたくさん癒され、元気を頂きました。お子様を介してのご参加者様同士の交流の場面も多く微笑ましい場面も拝見させて頂いています。

七草がゆはご提供出来ませんでしたが、七草の節供にちなんで、今年一年の無病息災をみんなで願うという意味合いでも、今回のイベントは、現在の社会情勢だからこそ実施する価値があったのだなと感じています。

ご参加頂いた皆様や実施に携わって頂いたみな様には心より感謝申し上げます！
次回の『みんなの節供』は『桃の節供』です。また開催できる状況に願いを込め、チラシ等で皆様に告知させていただきますので、お楽しみにお待ちくださいませ🍑(桃井)

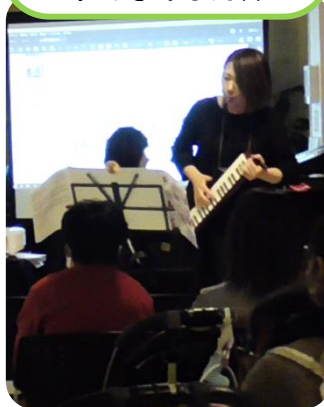
会場はにぎやかに



しあわせの
つめあわせ



ピアノの音色
すてきでした★



あの“おでかけ3”の
テーマソングも演奏されました



生活創造空間にし から
お知らせです。

にぎわい
あんど
にしよこ
寄席 其の十八

とうげつあん

桃月庵 こはく

きんげんてい うまた ろう

金原亭 馬太郎

事前予約
限定三十名

日時 令和4年 2月26日(土)

開場 12:30 開演 13:00

料金 ¥500 終演 14:40
休憩時間含む

申込締切は

2月25日(金)まで

お申し込み・お問い合わせ先

ガッツ・ビーと西 045-250-6506

※コロナ感染拡大の状況によっては、当所のイベント開催が止むを得ず中止になる可能性も考えられます。予めご了承いただけますようご協力の程、お願い致します。

『もへじ』のちょっと残念な話…

皆さんは聞き間違いで困ったことはありませんか？
もへじは先日某スタバでワンモアコーヒーといういわゆるおかわりサービスを利用したのです。
ご存じの方も多いかと思いますが、ブレンドコーヒーは150円でお替りできるのです！

その日は朝職場に行く前にカフェミスト(いわゆるカフェオレ)をキャラメルシロップ追加、
トールサイズで頼み、仕事が終わって別の店舗で『ワンモアコーヒー』を頼むという我ながらなかなか
生意気なスタバの利用の仕方をしたのです。

ワンモアコーヒーのオーダー時にもへじは店員さんに「同じもので」と伝えました。
その場で会計になりますが、なんか思っていた金額より高い気がしました。
ただ、もへじ、このサービスは数えるほどしか使ったことが無いので、
「まあいっか」とそのままコーヒーが出来上がるのを待ちました。
客はもへじしかおらず、程なくしてオーダーの商品が出来上がったのでカウンターに近寄ると
「カフェミスト・・・ミルクのお客さま！」と何か耳慣れない言葉を店員が発してあります。
ただ客は自分だけなのでとりあえず受け取ると、なんかさっき渡したチケットだけを
目の前の箱に入れてほしいと言うのでそんなものはもらってないと伝えました。
そこで何かおかしいと思い、レシートを確認したところ謎が解けました。
もへじは「同じもので」と伝えつつもりだったのですが、レシートを見ると
「オーツミルク カスタム」と記載してあります。

そうです、店員さんが「同じもので」を「オーツミルクで」と聞き間違えて商品が出て来たのでした。
だいたい違うやないかーいとは内心思いましたが、まあ捨てるのもなんですし、そのまま受け取りました
(カスタム料金は+50円です)。

まあ偶然出来上がったコーヒーが美味しかったので良かったです。
(ちなみにオーツミルクはオーツ麦から作られた植物性ミルク)
地球にもバイトの店員にも優しいもへじなのでした。

生活創造空間にし URL: <http://www.souzoukuukannishi.org>

【発行・印刷】生活創造空間にし広報委員会 〒220-0055 横浜市西区浜松町14-40

☎ 045-250-6506 (ガッツ・ビーと西) ☎ 045-250-6470 (エヌ・クラブ)

